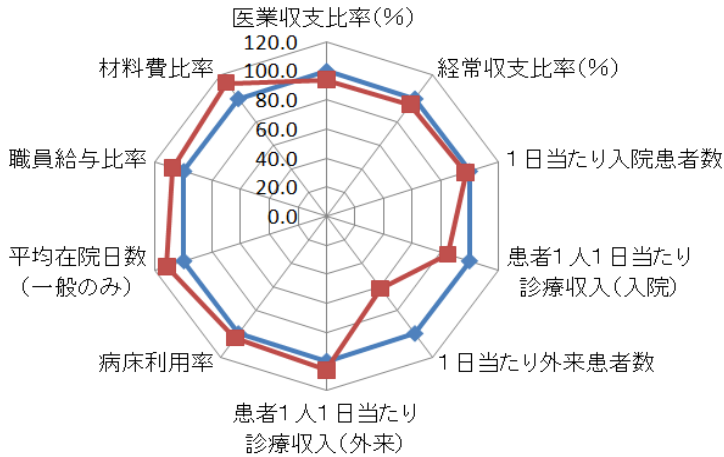




## 2) 平成29年度 経営分析



左の表は、平成28年度の総務省実施の決算統計において、自治体病院785病院中の医業利益がある41病院平均を100とした場合を青の点線で示しており、平成29年度の当院がどの位置にあるかを示している。

10項目中5項目は平均を上回っており、医業収支比率、経常収支比率においては平均を下回っているものの100%を超えているためいい経営状況にあるといえる。

今後は残りの3項目（患者1人1日当たり診療収入（入院）、1日当たり入院及び外来患者数）を注視しながらさらに健全な病院経営の実践を行っていきます。

区分		H28		H29
		当院実績	黒字病院	当院実績
1	医業収支比率 (%)	104.4	109.0	102.5
	医業費用に対する医業収益の比率を示す指標で、営業活動に対する収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。			
2	経常収支比率 (%)	107.1	110.0	104.6
	特別損益を除いた経常費用に対する経常収益の比率を示す指標で、経常的な収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。			
3	1日当たり入院患者数(274床換算)	227.5	235.2	229.4
	年間延べ入院患者数を入院営業日数で除した人数で、入院患者数を分析する上で最も基本的な指標です。			
4	患者1人1日当たり診療収入(入院)	47,288	55,715	47,383
	入院収益を年延べ患者数で除して算出した金額で、入院収入を分析する上で最も基本的な指標です。			
5	1日当たり外来患者数(274床換算)	370.0	581.9	355.6
	年間延べ外来患者数を外来営業日数で除した人数で、外来患者数を分析する上で最も基本的な指標です。			
6	患者1人1日当たり診療収入(外来)	17,400	16,729	17,721
	外来収益を年延べ患者数で除して算出した金額で、外来収入を分析する上で最も基本的な指標です。			
7	病床利用率	83.0	80.9	83.7
	病床274床に対する入院患者数の比率を示す指標で、病床が有効に利用されているかを判断します。			
8	平均在院日数(一般のみ)	16.0	17.9	16.0
	一般病床(回復期除く)に対する入院患者の在院日数の平均を示す日数で、病床が有効に利用されているかを判断します。			
9	職員給与比率	49.6	56.9	52.7
	病院の職員数が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。 *注意点として、短時間勤務者や派遣職員の給与費は含まれていない。			全職員：57.4
10	材料費比率	21.6	24.2	21.3
	病院の材料費(薬品費、診療材料費、医療消耗備品費、給食材料費)が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。			

\*黒字病院とは：総務省実施の決算統計において、自治体病院のうち医業利益がある病院(485病院中41病院)